

競技記録公認規程

(2026年8月1日施行)

本規程は、競技会において作られる日本記録、国内最高記録を含む記録の公認について定める。
記録の公認は、段級、推薦等の基本となる事項である。

(記録の公認)

第1条 公益社団法人日本ライフル射撃協会（以下協会という）は、この規定により日本国内に於けるライフル射撃競技の記録を公認する。

(公認の条件)

第2条 公認の対象とされる記録は、次の各号に該当するものとする。

1. 協会または加盟団体の特別の承認がない限り、協会（加盟団体を含む）の会員によってつくられたものであること。
2. 協会の公認する競技会で作られたこと。
3. 協会の競技規則に定められた競技種目であること。（別表1）
4. 協会の競技規則に従ってつくられたこと。
5. 協会のテクニカル・デレゲートによって参加者全員分確認、報告されたこと。
6. 協会の検定基準に基づき、公認された射撃場、銃器及び標的等で作られたこと。

(記録公認の行為)

第3条 協会は、「公認競技会の格付け規程」に基づき決められた競技会のグレードに則して、次のとおり一部の競技会については、加盟団体に委任して実施する。

- ① グレード1、グレード2の競技会
当該競技会の記録公認は、協会の競技運営委員会において行う。
協会ホームページにて掲載するための大会成績表（様式）は、競技会終了後すみやかに、メール添付にて当該競技会のテクニカル・デレゲート（競技会技術責任者）から競技会報告書と共に協会の競技運営委員会に報告されなければならない。
- ② グレード3、グレード4の競技会
当該競技会の記録公認を、当該競技会を主管する加盟団体に対して委任する。
- ③ 国外における競技会
理事会が派遣を決定した国外で開催される競技会については、その記録を公認する。

(最高記録の公認)

第4条 日本における最高の記録は、次により公認する。

1. 最高の記録は、次のとおり日本記録と国内最高記録に別けて管理される。
 - ① 日本記録は、ISSF種目、国民スポーツ大会種目、ジュニア育成目的の種目に設けられ、予選得点と本選得点とファイナル得点が別けて公認される。（別表2）
種目の改変（発数、競技時間等）が行われた場合、過去の種目と比較し、新たに記録が更新された場合のみ日本記録として公認する。
 - ② 国内最高記録は、協会が定めた競技種目のうち、日本記録種目に準ずる種目とする。（別表2）
2. 日本記録は、各種目の個人、ミックスチームおよび団体（3名）とする。
3. 日本記録は、各種目の個人、ミックスチームおよび団体に、ジュニアの区分を設けることができる。ジュニア区分 当該年の12月31日現在で、21歳以下のものの記録とする。
4. 日本記録は、次に定める種目のファイナル競技記録については、本選得点とファイナル得点を加算したものとすることができる。
 - ① 国民スポーツ大会種目のうち、CP60M。

5. 日本記録は、男女混合により実施される種目（ミックス種目を除く）の本選およびファイナルにおいては、以下の通りとする。
各々の性別における当該種目の日本記録を上回る得点を記録した場合は、当該記録を各々の性別における当該種目の日本記録として公認する。
6. 上記以外で、理事会に於いて認めた種目については公認する。

（日本記録、国内最高記録の対象競技会）

第5条

1. 日本記録、国内最高記録は、グレード1、グレード2の競技会において達成されたときに公認される。
2. その他事前に理事会で承認した国際競技会については、対象競技会とする。

（新記録の公認）

第6条 新記録の公認は、以下により行われる。

1. 日本記録は、理事会の承認後に発表する。ただし、全日本選手権、国民スポーツ大会、オリンピック大会、世界選手権、その他理事会が派遣を決定した国外で開催される競技会、並びに理事会で承認されたG2の競技会については、競技記録確定と同時に公認される。
2. 国内最高記録は、理事会の承認後に発表する。
3. 本来の屋外種目が屋内射撃場にて樹立された日本記録については「屋内」と表示する（別表2）。

屋外種目における日本記録の管理は、以下の通りとする。

- （1） 屋外記録が屋内記録を上回る場合
屋外記録のみを日本記録として公認する。
- （2） 屋内記録が屋外記録を上回る場合
屋外記録を「日本記録」、屋内記録を「日本記録（屋内）」として両方を公認する。

（日本記録の申請）

第7条 日本記録の申請は、以下により行われる。

1. グレード1、グレード2の競技会におけるテクニカル・デレゲートは、原則として競技会終了の日から1週間以内に、競技会報告書（様式1）記録申請書（様式2）を協会にメールにて競技運営委員会に送付する。また、競技会記録を、協会が指定する様式の電子データとして、協会が指定する方式で提出する。
2. 競技運営委員会が競技会報告書を確認後、理事会に報告する。

（記録公認の申請）

第8条 公認競技会を開催した時は、次の手続きをとらなければならない。

1. グレード3の競技会は、開催の3か月前までに所定の様式にて試合要項を競技運営委員会宛にメールにて提出する。競技運営委員会は、試合要項を確認し、協会Webサイト大会情報ページに掲出する。
尚、競技会主管団体が試合要項を未提出の場合、協会Webサイト大会情報ページに掲出されず、グレード4の競技会とする。
2. グレード4の競技会は、試合要項の提出を不要とする。
3. グレード3、グレード4の競技会におけるテクニカル・デレゲートは、原則として競技会終了の日から1週間以内に、競技会記録を、協会が指定する様式の電子データとして、協会が指定する方式で提出する。

（記録登録料）

第9条 競技会主管団体は、提出した「協会指定データベース記録反映用エクセルフォーム」を協会が登録した後、次により記録登録料を協会に納入しなければならない。

1. 協会または加盟団体が主催または主管する競技会を対象とする。
2. 規定弾数を撃った得点とDNF を登録する。DSQ、DNS は登録しない。
3. グレード1、グレード2、グレード3は1記録500円。
4. グレード4は1記録300円。
5. 1記録とは同一選手が競技する同種目の予選、本選、決勝までをいう。ただし、予選のみで終了し本選に進まなかった場合は、予選の記録のみで1記録とみなす。予選及び本選の両方が実施された競技会については、記録としては予選及び本選をそれぞれ1記録とするが、記録登録料は1試合につき1回とする。
6. 高等学校以下の生徒、児童はグレードにかかわらず0円。
7. 高等学校の生徒、児童とは18歳未満の者、または当該校に在籍する者。

(補 則)

第10条 協会は、公認の判定を行なった後でも、その判定を変更すべき明らかな理由があるときは、理事会の承認を受けた後に、その判定を変更できるものとする。

(附 則)

第11条 本規程の改廃は、理事会にて行う。

本規程は昭和42年5月3日施行

1. 昭和44年6月22日改正
2. 昭和46年10月25日改正
3. 昭和47年6月24日改正
4. 昭和57年4月1日改正
5. 昭和59年6月22日改正
6. 平成元年4月1日改正
7. 平成13年10月20日改正
8. 平成20年10月25日改正
9. 平成21年5月30日改正され、平成21年6月1日より施行する。
10. 別表1、2は、平成22年2月27日改正され、平成22年2月27日より施行する。
11. 別表1、2は、平成23年2月26日改正され、平成23年4月1日より施行する。
12. 平成23年11月26日改正され、平成23年12月1日より施行する。
13. 別表2は、平成24年2月25日改正され、平成24年4月1日より施行する。
14. 平成26年2月22日改正され、平成26年4月1日より施行する。
15. 平成27年2月21日改正され、平成27年4月1日より施行する。
16. 平成27年7月25日改正され、平成27年8月1日より施行する。
17. 平成28年2月20日改正され、平成28年4月1日より施行する。
18. 平成29年2月25日改正され、平成29年4月1日より施行する。
19. 平成30年2月17日改正され、平成30年2月17日より施行する。
20. 平成31年2月23日改正され、同日より施行する。(競技会報告書並びに様式変更)
21. 平成31年7月20日改正され、同日より施行する。(様式4欄外の紙標的に言及)
22. 2020年2月22日改正され、同日より施行する。(別表2屋内日本記録を追記)
23. 2021年5月29日改正され、2021年5月30日より施行する。(報告提出期限1週間以内に変更、記録エクセルデータ提出に言及)
24. 2022年2月26日改正され、2022年4月1日より施行する。(登録料制定)
25. 2022年7月9日改正され、同日より施行する。(提出する競技会記録の名称を統一)
26. 2022年9月24日改正され、同日より施行する。(日本記録種目の見直し等)
27. 2023年2月18日改正され、4月1日より施行する。(グレードの見直し等)
28. 2023年9月30日改正され、同日より施行する。(日本記録種目の見直し等)
29. 2024年5月25日改訂され、同日より施行する。(国民体育大会→国民スポーツ大会へ名称変更)

30. 2024年11月30日改訂され、同日より施行する。(記録公認種目・日本記録種目の見直し等)
31. 2025年5月24日改定され、同日より施行する。(男女混合種目の日本記録の定義、記録公認・日本記録種目名の見直し)
32. 2025年9月27日改訂され、同日より施行する。(屋外種目の屋内記録の取り扱いについて明確化)
33. 2026年2月21日改訂され、同日より施行する。(ニチラネットの文言変更、競技会参加者全員の記録報告義務、ミックス種目のチーム要件<男女各1名>の明確化、50m ライフル P60W ファイナルの日本記録対象種目追加、ミックス種目ファイナルのポイント制から得点製への変更に伴う日本記録対象種目追加。)
34. 2026年5月23日改定され、2026年6月1日より施行する。(日本記録の速報性向上のため、理事会で承認された G2 競技会を即時公認の対象に追加、並びに日本記録申請の理事会報告手続を見直し)
35. 2026年7月11日改定され、2026年8月1日より施行する。(多段階の予選形式にも対応するため、日本記録の定義に予選得点を追加し、予選のみで本選に進まなかった場合の記録の扱いを明確化。予選・本選が行われた競技会の記録登録料は1試合につき1回とすることを明記。「登録料」の名称を「記録登録料」に変更。別表2の列見出しを「本選得点」から「予選・本選得点」に変更)

別表 1 記録公認の対象種目（2025 年 9 月 27 日改訂）

区分		種目	射距離	備考
ライフル・男子	300m ライフル	3×40M、3×20M、3×20M スタンダード、P60M、P40、P20、F40、F20	300m、150m、100m、50m	1. スコープ付を含む。 2. F40、F20 は、依託による標的射撃を含む。
	50m ライフル	3×40M、3×20M、S40M、K20M、P60M、P40、P20、F40、F20	50m	1. スコープ付を含む。 2. F40、F20 は、依託による標的射撃を含む。
	10m エア・ライフル	S60M、S40M、S30M、3×20M、P60M、F40M	10m	F40M は小学生に限る
	ビーム・ライフル	BRS60M、BRS40M、BRS30M、BRT60M、BRF40M、BRF20M	10m	F40、F20 は、依託による標的射撃を含む。
ライフル・女子	300m ライフル	3×20W、P60W、P40、P20、F40、F20	300m、150m、100m、50m	1. スコープ付を含む。 2. F40、F20 は、依託による標的射撃を含む。
	50m ライフル	3×40W、3×20W、P60W、P40、P20、F40、F20	50m	1. スコープ付を含む。 2. F40、F20 は、依託による標的射撃を含む。
	10m エア・ライフル	S60W、S40W、S30W、3×20W、P60W、P40W、F40W	10m	F40W は小学生に限る
	ビーム・ライフル	BRS60W、BRS40W、BRS20W、BRT60W、BRF40W、BRF20W	10m	1. F40、F20 は、依託による標的射撃を含む。
ミックス	50m ライフル ミックスチーム	R3PMIX	50m	3 姿勢男女ミックス
	10m エア・ライフル ミックスチーム	ARMIX	10m	
	ビーム・ライフル ミックスチーム	BRMIX	10m	
ピストル・男子	50m ピストル	50m ピストル M	50m	
	25m ラビッド・ファイア・ピストル	RFP60M	25m	
	25m センター・ファイア・ピストル	CP60M、CP30M	25m	
	25m スタンダード・ピストル	SP60M	25m	
	10m エア・ピストル	AP60M、AP40M、APF40M	10m	APF40M は小学生に限る
	ビーム・ピストル	BP60M、BP40M、BPF40M、BPF20M	10m	
ピストル・女子	25m ピストル	25m ピストル W	25m	
	10m エア・ピストル	AP60W、AP40W、APF40W	10m	APF40W は小学生に限る
	ビーム・ピストル	BP60W、BP40W、BPF40W、BPF20W	10m	
ピストルミックス	25m ピストル ミックスチーム	RFP MIX	25m	RFP 男女ミックス
	10m エア・ピストル ミックスチーム	AP MIX	10m	
	ビーム・ピストル ミックスチーム	BP MIX	10m	
ハンドライフル	ハンドライフル	HR40	10m	
前装銃	長筒	立射 10 発、膝射 10 発	50m	
	侍筒	侍筒 10 発	50m	
	短筒	短筒 10 発	25m	

注 1）表中の、F40、F20（依託による標的射撃を含む）は、依託台を使用しての 40 発、20 発競技を含む。
ただし、いわゆるベンチレスト射撃（集弾の大きさを競うもの）は含まない。

別表 2 日本記録及び国内最高記録の対象種目（2025 年 9 月 27 日改訂）

区分・種目			日本記録			国内最高記録	
			予選・本選得点	ファイナル	団体		
ライフル・男子	300m ライフル	P60M	○ (アイアンサイト)	×	○	○	・ 日本記録種目を除く ・ 射距離 300、150、100m ・ スコープ付きは「スコープ付」と記載
		P40M	×	×	×	○	
		3×20M スタンダード*	○ (アイアンサイト)	×	○	○	
		3×20M	○ (アイアンサイト)	×	○	○	
	50m ライフル	P60M	◎ (アイアンサイト)	◎ (アイアンサイト)	◎	×	屋内射場での 日本記録は、 「屋内」と記載
		K20M	○ (アイアンサイト)	×	×	×	
		S40M	○ (アイアンサイト)	×	×	×	
		3×20M	○ (アイアンサイト)	◎ (アイアンサイト)	○	×	
	10m エア・ライフル	S60M	◎	◎	◎	×	S40M、F40M は 小学生に限る
		S40M	×	×	×	◎	
		S30M	◎	×	×	×	
		P60M	◎	×	◎	×	
		F40M	×	×	×	◎	
	ビーム・ライフル	BRS60M	◎	◎	◎	×	S40M、F40M は 小学生に限る
		BRS40M	×	×	×	◎	
		BRS30M	◎	×	×	×	
		BRF40M	×	×	×	◎	
ライフル・女子	300m ライフル	3×20W	○ (アイアンサイト)	×	○	○	・ 日本記録種目を除く ・ 射距離 300、150、100m ・ スコープ付きは「スコープ付」と記載
		P60W	○ (アイアンサイト)	×	○	○	
	50m ライフル	3×20W	○ (アイアンサイト)	◎ (アイアンサイト)	○	×	屋内射場では、 「屋内」と記載
		P60W	◎ (アイアンサイト)	◎ (アイアンサイト)	◎	×	
	10m エア・ライフル	S60W	◎	◎	◎	×	F40W は 小学生に限る
		S40W	◎	◎	×	×	
		S30W	◎	×	×	×	
		P60W	◎	×	◎	×	
		F40W	×	×	×	◎	
	ビーム・ライフル	BRS60W	◎	◎	◎	×	BRF40W は 小学生に限る
		BRS40W	×	×	×	◎	
		BRS20W	◎	×	×	×	
		BRT60W	×	×	×	◎	
		BRF40W	×	×	×	◎	
ライフルミックス	10m ライフルミックスチーム	R3PMIX	○	×	×	×	
	10m エア・ライフルミックスチーム	ARMIX	◎	◎	×	×	
	ビーム・ライフルミックスチーム	BRMIX	◎	◎	×	×	

注 1) ○は、整数表示による得点。

注 2) ◎は、小数点表示による得点。

注 3) ミックスの日本記録は、1 名は男子、1 名は女子で構成されたチームの結果を対象とする。。

注 4) 団体は、同じ種目の 3 名の本選得点の合計を得点とする。

注 5) 国内最高記録は、個人の本選の得点のみとする。

区分・種目			日本記録			国内最高記録	
			予選・本選 得点	ファイナル	団体		
ピストル・男子	50m ピストル男子	50mピストル 60M	○	◎	○	×	
	25m ラピッド・ ファイア・ピストル	RFP60M	○	注 6	○	×	屋内射場では、 「屋内」と記載
	25m センター・ ファイア・ピストル	CP60M、 CP30M	○	注 7	○	×	
	25m スタンダード・ ピストル	SP60M	○	×	○	×	
	10m エア・ピストル	AP60M	○	◎	○	×	AP40M、APF40M は 小学生に限る
		AP40M	×	×	×	○	
		APF40M	×	×	×	○	
	ビーム・ピストル	BP60M、 BP40M	○	◎	○	×	BPF40M は 小学生に限る
		BPF40M	×	×	×	○	
ピストル・女子	25m ピストル女子	25mピストルW	○	注 6	○	×	屋内射場では、 「屋内」と記載
	10m エア・ピストル	AP60W	○	◎	○	×	APF40W は 小学生に限る
		AP40W	○	◎	×	×	
		APF40W	×	×	×	○	
	ビーム・ピストル	BP60W、 BP40W	○	◎	○	×	BPF40W は 小学生に限る
		BPF40W	×	×	×	○	
ピストルミックス	25m ピストル ミックスチーム	RFP MIX	○	×	×	×	
	10m エア・ピストル ミックスチーム	AP MIX	○	◎	×	×	
	ビーム・ピストル ミックスチーム	BP MIX	○	◎	×	×	
ハンドライフル	ハンドライフル	HR40	×	×	×	○	
前装銃	長筒	立射 10 発	×	×	×	○	
		膝射 10 発	×	×	×	○	
	侍筒	侍筒 10 発	×	×	×	○	
	短筒	短筒 10 発	×	×	×	○	

注 1) ○は、整数表示による得点。

注 2) ◎は、小数点表示による得点。

注 3) ミックスの日本記録はステージ 1 を対象とする。

注 4) 団体は、同じ種目の 3 名の本選得点の合計を得点とする。

注 5) 国内最高記録は、個人の本選の得点のみとする。

注 6) ラピッド・ファイア・ピストルおよび 25m ピストル女子のファイナルの単位は、ポイントとする。

注 7) センター・ファイア・ピストルのファイナルの日本記録は、本選得点にファイナル得点を加算した得点とする。

注 8) 屋外種目の日本記録の扱いについて、屋外種目において屋内記録が屋外記録を上回った場合、両記録を並行管理する。屋外記録が屋内記録を上回った時点で、屋外記録のみを日本記録として公認する。屋内記録の場合、記録一覧・報道資料・表彰等では必ず射場種類（屋内）を併記する。

様式 1

グレード1、グレード2 競技会

公益社団法人 日本ライフル射撃協会
競技運営委員会 御中

年 月 日

テクニカル・デレゲート氏 名

主管団体名

競技会実施報告書

次の通り、競技会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 競技会の実施について

1) 競技会のグレード (グレード1 ・ グレード2)

2) 競技会名 _____

3) 競技会場名 _____

4) 競技実施日 西暦 年 月 日～ 月 日

5) 実施種目及び参加者数 _____

2. 公認記録の報告

1) 日本記録・国内最高記録の申請について (有 ・ 無)

3. 添付書類

1) 競技運営状況報告 (様式3～4)

2) 役員配置表・審判員評価表 (様式5)

以上

様式2 (日本記録・国内最高記録 報告書)
(グレード1、グレード2の競技会で使用)

日本記録・国内最高記録 報告書		
競技会		
競技日		
競技者(所属)		
競技種目		
記録	今回の記録 (新記録)	
	現在の記録	
備考		
_____年____月____日 テクニカル・デレゲート _____		

注1) 銃器用具検査用紙の写しを添付

注2) 標的又は記録プリンター出力紙を添付

様式 3 競技運営状況報告

(グレード1、グレード2の競技会で使用)

競技会 報告書	
競技会名	
期 日	
主管団体名	
公認射撃場	公 認 (第__種) ☐ 射撃場公認証確認 (確認したら ☒)
使用標的	電子標的 m. m. (ビームもこの欄) 紙 標 的 m. m.
電子標的 ビーム標的	標的装置にオフィシャルサプライヤーが貼付した 公認証確認 (年 月) = 有効
紙標的	☐ 協会標章確認 (確認したら ☒) ☐ 大口径標的公認証貼付
紙標的採点	☐ 自動標的採点機 ☐ プラグゲージ
<報告事項>	
_____年__月__日 テクニカル・デレゲート _____	

使用した標的が紙標的の場合公認標的であることが確認できるよう、写真の添付を必須とする。
紙標的が公認標的であることが確認できれば写真は1枚で良い。

様式 4 競技運営状況報告

T D 意見書			
() 抗議があったものに対するもの () それ以外のことについて			
1. 事実の確認			
2. ジュリーからの改善意見			
3. 組織委員会からの改善意見			
4. T Dの改善意見			
場所		日付	
テクニカル・デレゲート _____			

様式5 競技運営状況報告

審判員評価報告書			
テクニカル・デレゲートは、原則として競技会終了1週間後、競技運営委員会審判部会に報告書を提供すること。 この情報は将来の審判員の配置や基準の改善に役立てる。 見出しの下での記入部分が不十分な場合は必要に応じて追加のページを添付すること。			
1. 競技会名			
名称	場所	日付	
2. テクニカル・デレゲート			
氏名			
3. 役員配置			
組織委員会 (競技会運営役員)	資格等	人数	
大会会長	主催代表者	1名	
コンペティションマネージャー (競技会運営責任者)	主幹責任者	1名	
チーフレンジオフィサー (射場長)	本部	各射撃場 1名	
チーフRTS オフィサー (RTS長)	本部	1名	
チーフEC オフィサー (用具検査長)	本部	1名	
レンジオフィサー (競技役員)	公認審判員 が望ましい	各射撃場 10射座につき 1名以上配置	

RTS オフィサー (RTS 役員)	公認審判	各射撃場 1 名以上	
EC オフィサー (用具検査役員)	公認審判	6 名以上	
EST オフィサー (電子標の技術員)	公認審判	各射撃場 1 名	
ジュリー (競技会技術役員)	資格等	人数	
ジュリーオブアピール (上訴ジュリー)	本部	1 名	
ライフルジュリー	本部	3 名以上	
ピストルジュリー	本部	3 名以上	
RTS ジュリー	本部	3 名以上	
EC ジュリー (用具検査ジュリー)	本部	2 名以上	

特筆すべき審判員のパフォーマンス 将来のための推薦（今後審判起用を推薦するか否か） 個々の審判員に関する報告：経験レベル/貢献度合いや働きぶり/服装（ドレスコード）等の外観等			
氏 名		パフォーマンス	
4. 競技会と審判員の配置に関するコメント 競技会の全般的な運営状況/特に懸念されたこと/良い改善または改善を必要とすること			

5. 注目すべき事故（インシデント）および/または抗議/失格 簡単な説明のみ。より詳細な説明が必要な場合は、個別のレポートを添付。	
a)	
b)	
c)	
d)	
6. 懸念されること、興味深いこと 根本的な傾向/選手の行動/ルールの解釈または応用上の混乱/ルールブックの間違い/改善提案	
7. 主管団体の技術員/スタッフの配置について 学ぶべき教訓/改善手順/射場長のパフォーマンス	

8. その他の備考	
会場での今後の競技会に関する射場の変更または改善に関する一般的/推奨事項	
9. 添付ファイルの一覧（添付がある場合）	
a)	
b)	
c)	
d)	

テクニカル・デレゲート
氏名
